

技術発表会

水平展開でステップ

NIPPO

NIPPOは23日、東京都中央区のマツダホールで第8回事例研



究発表会を開いた。約120人が参加し、全国10支店の発表会で報告された百編の中から選考された18編が発表された。

開会あいさつの中で、同社の岩田総業社長は、「事例研究発表会は、技術・技能の伝承・育成という面で欠かせないものになっている。本日発表された他支店の事例を現場に戻って水平展開し、次のステップにつなげることを期待している」と述べた。

発表論文は、工事・技術部門、合材部門、建築部門から営業企画、品質・出来映え向上、評価点アップなど多岐にわたり、創意工夫に対する活発な意見交換が行われた。役員や本社部長らによる審査の結果、優秀者に4人が選ばれ、最優秀賞、優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞、審査員特別賞として表彰された。

### 全国から13編

NIPPOが  
事例研究発表会

NIPPOは23日、第8回事例研究発表会を東京都中央区のマツダホールで開催した。昨年度以降に全国10支店で行われた発表会に出た77編の論文から選考された13編が報告された。役員や本社の部長らが論文と当日のプ

岩田社長（前列中央）と論文発表者



レゼンテーションを審査し、優秀者4人を選出。最優秀、優秀論文、優秀プレゼンテーション、審査員特別の各賞を贈った。

発表会には約120人が参加。冒頭、岩田裕美社長は「担い手の確保が急務の課題となっており、事例研究発表会は技術・技能の伝承・育成という面で欠かせないものになっていく。発表された他支店の事例を現場に戻って水平展開し、次のステップにつなげることを期待している」とあい

さつした。  
今回は工事・技術、合材、建築の各部門から、営業展開や品質向上、出来栄向上、評価点アップなど多岐にわたる論文が発表された。創意工夫に関する意見交換も活発に行われた。